

「建設現場のマネジメント」

●3 感想・意見

▼建設会社（土木）

- ・すごく参考になりました。第三者 地域の人にも受講してもらいたい。会社にも講習講話に来て頂きたい。
- ・再確認出来ました。
- ・大変、勉強になりました。
- ・今、私達が行なっている公共工事を通して、いかに地域住民とかかわり、見える化をしていかなければいけないか分かってきた事が大きな成果でした。大切な講話をありがとうございました。
- ・為になる事例や建設関係者ではない人の講義であったためよかった。
- ・地域貢献に関して自分達が行う事の理解。
- ・自分なりに現場で目的・成果物・成功基準をやってみようと思いました。信号を表示する工程表もよかった。
- ・違う立場の意見が聞けて良かった。
- ・建設業が地域（地元）にとっていかに重要かということを再認識した。
- ・研修はとてもよかったが駐車場の確保がずさんだった。
- ・いい事ばかりの話で多少、現実とのギャップを感じました。
- ・内容が良かったと思う。自信を持って仕事をしていきたいと思う。
- ・講師が建設業の印象を良くしようと考えているのが伝わり、うれしく思いました。
- ・発注者との共通認識のもと一丸となって現場に取り組み、わかりやすい言葉で住民に伝える大切さがわかった。
- ・大分土木未来プラン（2005）を知った事。三方良しの言葉。コンクリートが人を作っているという言葉。
- ・未来への地図を読み聞きしている中で、建設業の目立たない、伝わらない等むなしくなってきました。が見える化・アピールに努力し、機能性重視で物創りをしていきたい。
- ・地域住民から「ありがとう」と言ってもらえる仕事をする。伝えるより伝わる。目標設定。
- ・仕事に対する意欲「胸を張れる仕事」を再認識できた。
- ・やはり、コミュニケーションが大切な事が、再確認できた。
- ・理想論を説明されても、発注者・受注者・地域住民ともに自分に利益にならない事に興味を示さないのが無理が有ると思った。あまり為にならなかった。
- ・今回の研修が一発注者に伝わるか不安です。
- ・地域住民とのコミュニケーションの方法。官との考え。
- ・目標を手段として考えると何ができそうかがわかる気がする。
- ・講義内容な考え方に社会全体がなれば良いが、現実是非常に難しいのではないかと思います。
- ・三方よしには相互のコミュニケーションが必要で SNS などのコンテンツを利用することは有益だと感じた。
- ・こん回の研修は大へん勉強させてもらい良好でした。
- ・仕事の中で生活を行うが、地域との共生をもう一度考えさせられたと思う。
- ・土木業界は昔から特殊な人々（ヤクザ？）がやっている。段合など不利な情報だけが飛びかい、

悪者あつかいである。労働者が事件等を起こせば、土木作業員と新聞に書かれますが、建築の労働者の場合は建築作業員ではなく、建設作業員とされます。東北の被災でも、建設業者（土木業者）ががんばっているのに自衛隊のみがクローズアップされました。なのに土木学会も、国民に対してのアピールはしてないと思います。これらの内容は、一般公衆にも理解してもらいたい。

- 一般者に対しての広報の大切さがわかりました。
- 地域貢献が仕事の本質である事。
- 地域貢献の広報方法<フェイスブックを有効利用>。地域住民との壁を取り払う為には。「伝えるから伝わる」…大事ですね！！
- おおいた土木未来プラン…やはりアピールが足りない。アピールするためにはまず社内から・・・
- 自分が今までやって来た事が、再確認できた。
- 3方よしの施工を心がけて作業に取り組みたい。
- わかりやすかった。

▼測量設計会社

- 社会ニーズの変化に対応した、発想と取り組みが必要だということがよく分かりました。PR・情報発信を上手にやるのが欠かせない時代になっている。
- 「ハウ・レン・ソウ」について参考になった。